

決 裁	確 認	係

伺 下記のとおり支給してよろしいか。

介護休業手当金請求書 (260)

下記のとおり請求します。

茨城県市町村職員共済組合理事長 様

請及 求 期 金 額	年 月 日から	決 定 金 額	円
	年 月 日まで		

請求日	年 月 日	所属所								
組合員等 記号番号	-	短期標準 報酬月額	円…A							
組合員 氏 名			住所							
要介護者 の氏名	(続柄)									
介護休業承認期間			年 月 日から 年 月 日まで							
今回請求分	曜日	1	2	3	4	5	6	7	支給 開始日	年 月 日から
年 月分		8	9	10	11	12	13	14	前回 支給分	年 月 日まで
請求回数	回目	15	16	17	18	19	20	21	今回 支給分	年 月 日まで
該当日に○印を付する		22	23	24	25	26	27	28		
		29	30	31						

【給与支払に関する証明】

請求月の報酬については下記のとおりあることを証明する。

請求月の報酬額（本来の支給額）

減額の対象となる手当等		減額対象外の手当	
給 料	円	扶養手当	円
給料の調整額	円	住居手当	円
地域手当	円		円
	円		円
	円		円

勤務しなかった期間に対し支払われた報酬の額（裏面参照）

_____ 円…E

年 月 日

給与事務担当者
職名
氏名

【支給額の計算】

・標準報酬日額

$$A \times 1/22 = \text{_____} \text{円…B}$$

(10円未満四捨五入)

・支給日額

$$B \times 67/100 = \text{_____} \text{円…C}$$

(円未満切捨て)

※支給日額が上限額を超える場合は、上限額を記入

・給付額

$$C \times \text{_____} \text{日} = \text{_____} \text{円…D}$$

(土・日曜日、祝日を除く)

・報酬との調整後の支給額

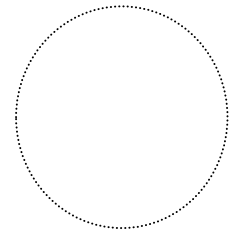
$$D - E = \text{_____} \text{円}$$

上記の記載事項は事実と相違ないものと認めます。

年 月 日

職名
所属所長
氏名

受付印



1. 介護休業承認請求書の写し又は辞令の写しを添付してください。
2. 請求書は1月につき1枚ずつ作成してください。
3. 任意継続組合員は請求できません。

【勤務しなかった期間に支払われた報酬の額】

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> $(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 1 \text{日} / \text{介護休暇を取得した月の要勤務日数}$ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> $\frac{(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 12 \text{月}}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$ </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">×</td> <td style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> $\frac{\langle \text{勤務時間1時間当たりの給与額} \ast \text{円未満四捨五入} \rangle}{\langle \text{1日当たりの勤務時間} \rangle}$ </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;"> <small>※網掛け部分がマイナスとなった場合は0円とする。</small> </td> </tr> </table> </td> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 45%; padding: 5px;"> $\times \text{介護休暇取得日数}$ </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> $+$ </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> $\text{減額対象外の手当} \times 1 / 22$ </td> <td style="padding: 5px;"> (円未満切捨て) </td> </tr> </table>	$(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 1 \text{日} / \text{介護休暇を取得した月の要勤務日数}$		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> $\frac{(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 12 \text{月}}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$ </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">×</td> <td style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> $\frac{\langle \text{勤務時間1時間当たりの給与額} \ast \text{円未満四捨五入} \rangle}{\langle \text{1日当たりの勤務時間} \rangle}$ </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;"> <small>※網掛け部分がマイナスとなった場合は0円とする。</small> </td> </tr> </table>	$\frac{(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 12 \text{月}}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$	×	$\frac{\langle \text{勤務時間1時間当たりの給与額} \ast \text{円未満四捨五入} \rangle}{\langle \text{1日当たりの勤務時間} \rangle}$	<small>※網掛け部分がマイナスとなった場合は0円とする。</small>				$\times \text{介護休暇取得日数}$	$+$	$\text{減額対象外の手当} \times 1 / 22$	(円未満切捨て)	
$(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 1 \text{日} / \text{介護休暇を取得した月の要勤務日数}$															
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> $\frac{(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 12 \text{月}}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$ </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">×</td> <td style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> $\frac{\langle \text{勤務時間1時間当たりの給与額} \ast \text{円未満四捨五入} \rangle}{\langle \text{1日当たりの勤務時間} \rangle}$ </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;"> <small>※網掛け部分がマイナスとなった場合は0円とする。</small> </td> </tr> </table>	$\frac{(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 12 \text{月}}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$	×	$\frac{\langle \text{勤務時間1時間当たりの給与額} \ast \text{円未満四捨五入} \rangle}{\langle \text{1日当たりの勤務時間} \rangle}$	<small>※網掛け部分がマイナスとなった場合は0円とする。</small>				$\times \text{介護休暇取得日数}$							
$\frac{(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 12 \text{月}}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$	×	$\frac{\langle \text{勤務時間1時間当たりの給与額} \ast \text{円未満四捨五入} \rangle}{\langle \text{1日当たりの勤務時間} \rangle}$													
<small>※網掛け部分がマイナスとなった場合は0円とする。</small>															
$+$	$\text{減額対象外の手当} \times 1 / 22$	(円未満切捨て)													

※ 上記の介護休暇により勤務しなかった期間の給与額の算定方法(減額方法:網掛け部分)は、国家公務員の例です。勤務時間1時間当たりの給与額の算定方法等が条例と異なる場合は、条例による算定方法にて算出してください。

条例による算定方法にて、勤務しなかった期間に支払われた報酬の額を算出してください。

※通勤手当は原則として調整対象外

下記のとおり
 別紙のとおり
 請求月の給与の支給なし